

Information_8

人が美味しくご飯を頂くために歯磨きは欠かせないですね。

実は犬や猫も、ずっと歯のケアをせずにいると歯周病になることがあります。症状が酷いときには麻酔をして処置をすることもあります。そんな事態を避けるために、知っておいてほしい歯周病になる原因と歯のケア・予防についてのお話です。

歯周病ってなに？

歯垢の中にいる細菌によって歯の部分だけではなく、その下の歯ぐきや歯の根元・歯肉の部分まで炎症が引き起こされる感染症のことです。実は虫歯よりも口腔内の疾患で多いのは歯周病と言われています。犬や猫は人と異なり、虫歯の元となる菌の好む成分が少ないため虫歯になることはほとんどありません。

どうして歯周病になるの？

- ・歯垢が溜まることによって口内に細菌が増えます。
- ・歯肉の溝から放出されるカルシウムやリン酸という成分が歯垢とくっつき、石灰のように固まると歯石になります。3~5日ほどで歯垢は歯石になるといわれています。

症状はどういうもの？

- ・軽度：歯肉の下に歯垢と歯石が溜まり、歯を支える部分が融け始めます。
- ・中度：歯ぐきが崩れ始め、歯を支える部分が融けだします。歯周ポケットと呼ばれる溝の部分はより深さを増します
- ・重度：歯ぐきや歯を支える部分の広い範囲で消失が見られ、歯のぐらつきを感じるようになります。

予防する方法はあるの？

歯磨きをしましょう

わんちゃんや猫さんに突然歯磨きをすることは難しいと思います。お互いに無理をせず、無理をさせずに少しずつ段階を踏んで慣れさせてあげることが歯磨き成功の近道になります。それを今回は3つの段階に分けてご紹介します。



① 「口周りを触られる=いいこと、嬉しいこと」と覚えてもらう

初めに顔・口に触れてみましょう。口周りに触れて優しくマッサージをすることで慣れさせてあげましょう。上唇にほんの少し触れてみたり、それに慣れてきた様子なら口の中に指を入れてみるなど、徐々に触れられる時間を延ばしていきましょう。

② 柔らかい布で表面からチャレンジ

ガーゼなど柔らかい布にわんちゃん用の歯磨きペーストをつけ、指で持ち歯に触れてみましょう。慣れてきたら切歯、犬歯、臼歯の順で優しくこすってみましょう。

③ 歯ブラシはいいもの！と印象付ける

顔に触れ、ガーゼなどで歯をこすっても嫌がらなくなってきたら歯ブラシを使って磨いてみましょう。初めは歯ブラシの柄に好きな食べ物をぬりつけて口に含ませることで慣れさせてあげましょう。それから歯ブラシはいいものと印象付けてから徐々に磨く時間を増やしていくと効果的です。

※歯磨きにチャレンジして、必ずしも歯磨きができるようになるわけではありません。現在は歯磨きをする他にも歯磨きガム、ふりかけタイプや錠剤タイプのサプリメントなど様々なケア・予防用品があります。また、食べて歯のケアや予防ができるフードなどもあるので、一度試してみてもいいかもしれませんね。